1－1 医療情報活用の目的

医療情報活用の目的は，主に「医療の領域における問題解決・課題解決」でしょう．医療分野に限らず一般的に，「情報活用の目的」は「問題解決・課題解決」と言ってよいと思います．そのほか情報活用の目的らしき用語として，例えば意思決定，知識の修得，効率化，コミュニケーションの促進，リスク管理，新しい価値の創造…など，色々思い浮かびますが，これらの一つひとつの事項のさらに奥にある目的を突き詰めて考えれば，何らかの問題解決や課題解決を行うためになされていることが理解されるでしょう．例えば，意思決定は何のために？知識の習得をするのは何のために？…というように，それらのさらなる目的を考えると，その向こうには問題や課題が存在していることが想像できます．また，コミュニケーションの促進とは，「情報を交換するプロセス（コミュニケーションの狭義の定義）」を促進すること自体であり，目的というより情報活用をうまく行うための一つの方法にすぎません．これらのものは一見情報活用の目的のように見えますが，突き詰めると，情報活用の目的はいずれも問題解決・課題解決に集約されます．逆に言うと，「問題や課題をしっかりとつかんでいなければ，情報を活用することがうまくできない」ということになります．ここで，問題解決・課題解決と分けて記述しましたが，「問題」と「課題」は大変良く似たものですが，その違いはそれぞれ「現在」に対するものと「将来」に対するものと理解していただけばよろしいと思います．